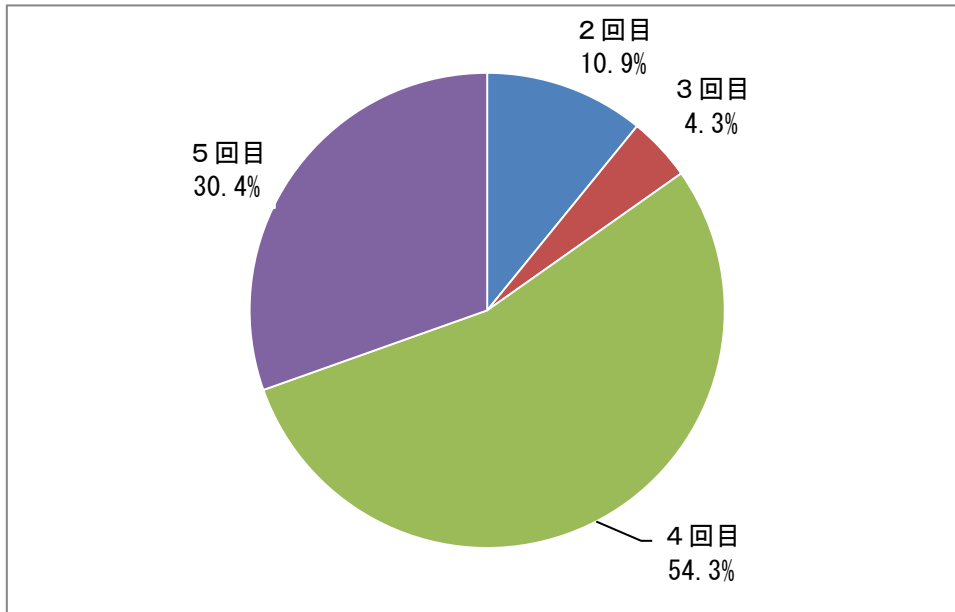


第5回 逗子の未来協議会 アンケート結果

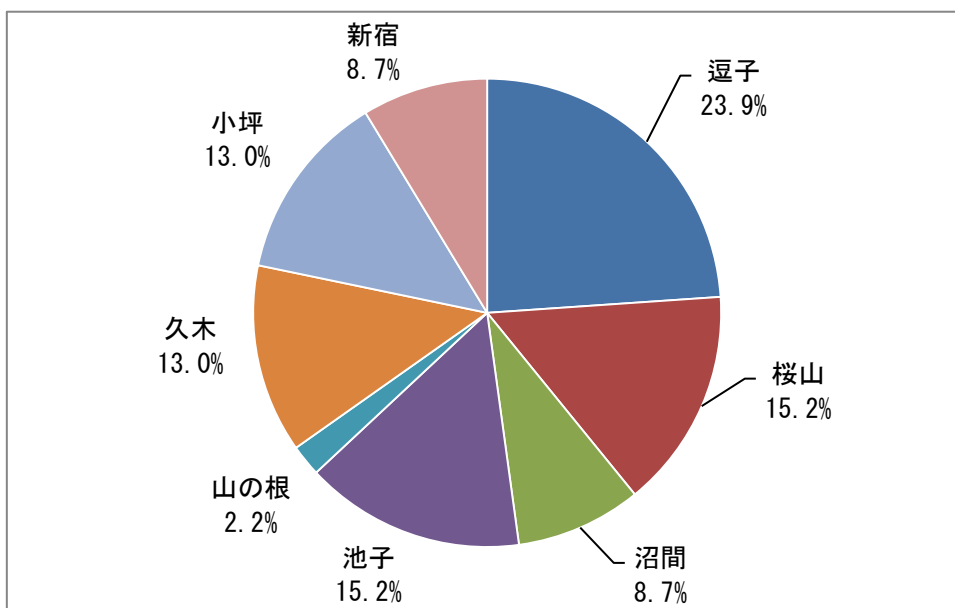
実施日：平成28年11月19日（土）

回収数：46（回収率98%）

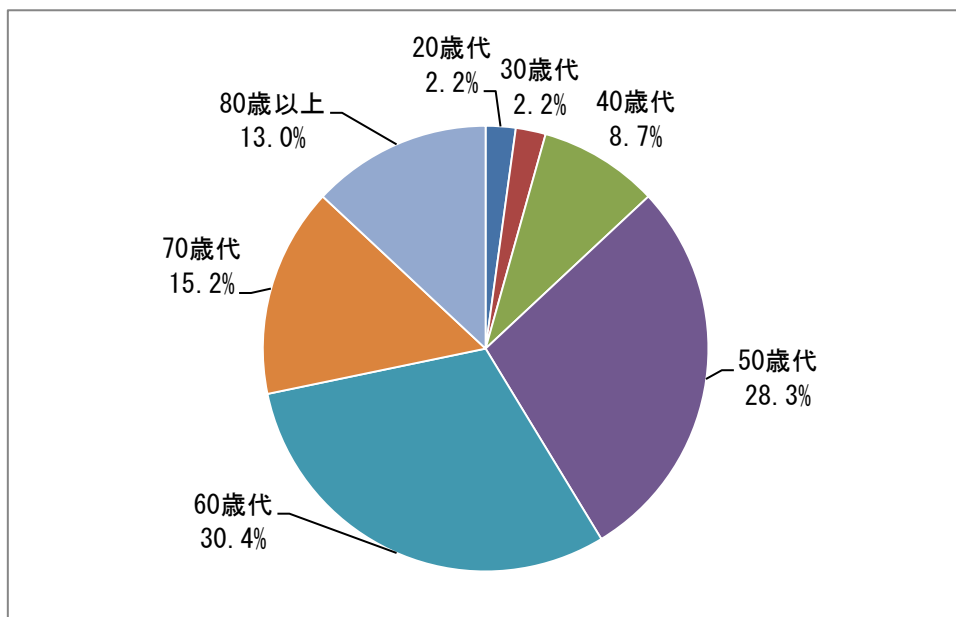
1 第5回参加者の参加状況



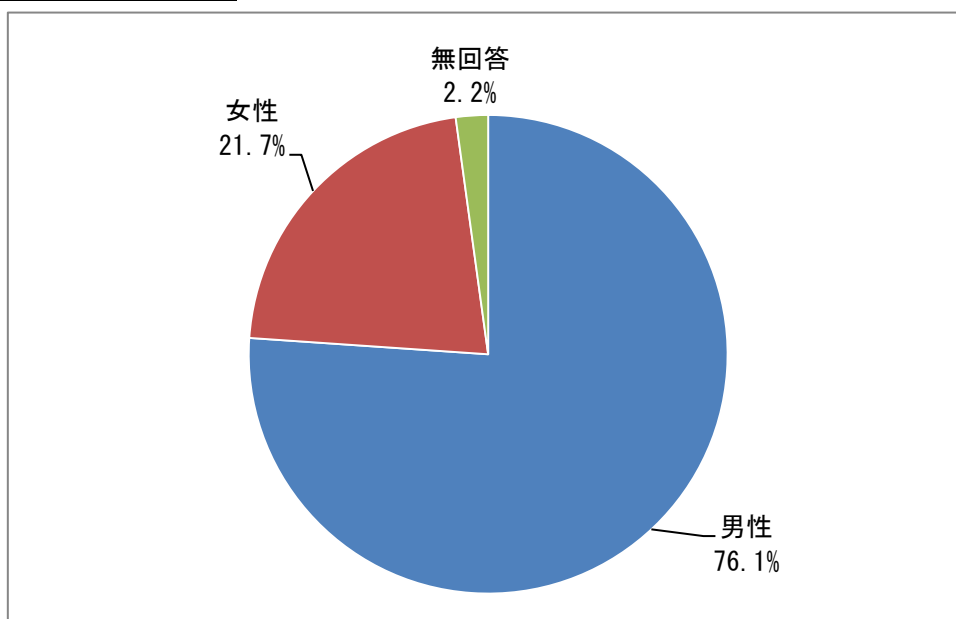
2 第5回参加者の居住地



3 第5回参加者の年代



4 第5回参加者の性別



5 自治基本条例に盛り込みたい思ったことや考え方

※意見の後ろの（ ）は同意見の件数

<前文>

- ◆ 逗子市をどのような市にしたいかという前文(序)
- ◆ 条例前文(2)
- ◆ 前文へ、逗子の良さを盛り込む（自然、海、都へのアクセスの良さ）
- ◆ 逗子をどういう町にしたいか→前文に
- ◆ 若い人が住める、定住できる、自然を大切に作る等逗子がどうあるべきかの前文。

<理念>

- ◆ 条例に盛り込みたい一押し理念を明確にする。
- ◆ 理念、ポリシーなどの共通思想を盛り込む。
- ◆ 理念、ポリシーを遂行するための意見交換のプロセスの盛り込みが必要
- ◆ 逗子らしい基本理念、皆が共有できる理想像

<情報共有、情報公開>

- ◆ 情報公開を共有
- ◆ 情報の発信、共有。年齢によるハンデ無く全ての人が必要な情報を手にすることができるような仕組み作り。
- ◆ 情報共有のための具体的な条件
- ◆ 情報公開、共有の方法。
- ◆ 情報の共有化
- ◆ 議会、行政、市民の情報を共有する。
- ◆ 市民活動や市の情報共有
- ◆ 市民、行政、議員（議会）の情報発信及び共有が必要
- ◆ 情報共有のための条例（具体的に決めていく）
- ◆ 情報共有の仕組みを作る（双方向の情報の流れの盛り込みが大切）
- ◆ 情報共有（行政・議会・市民）
- ◆ 情報・意見の共有化（行政、議会、市民それぞれの仕組み作り）
- ◆ 情報の共有化（双方向）
- ◆ 市民活動（団体）に関する情報の提供
- ◆ 行政・議会・市民全ての情報を細かく開示し、互いに共有する。
- ◆ 行政、市民、NPO・自治会の情報をそれぞれが共有する。
- ◆ 情報共有を条項に盛り込む。
- ◆ 情報公開、共有
- ◆ 情報共有の場作り→更にその情報を共有する仕組み。
- ◆ 各団体の情報を共有できるようにすること。
- ◆ 情報共有できる仕組みを盛り込む。
- ◆ 情報提供

- ◆ 今の逗子の良さ、利点を生かす→市民の共通認識にする。外部へPR

＜意見交換、意見表明＞

- ◆ 全員（それぞれの立場、団体）が意見を出せる場
- ◆ ワールドカフェのようなWSを定期的開催できると良いと思います。（無作為抽出のような形で）
- ◆ ワールドカフェなどで出た意見を、さまざまな現在の制度なりへつなぐこと、そういうことでより実行性が高まると思う。
- ◆ 市民がもっている意見を公表できる場・機会をつくる。
- ◆ 市民、行政、議会が意見交換できる場を設ける。
- ◆ 市民が集まって自分の意見を表明するチャンスの場を設ける。
- ◆ まちづくり集会（外国人含む市民、行政、議会、NPO、自治会）を年1回以上開催し、市民の意見を反映させた条例を速やかに制定する。
- ◆ 市民・行政・議会の話し合いの場を設けること。
- ◆ みんなで話し合う場（行政・議会・市民）
- ◆ 少数派の意見を尊重できるよう、話し合いの場を定期的にもつ。（住民自治協議会）
- ◆ 自治条例の位置が担保されること（不変であること）及び改正が約束されていること&情報公開が常。
- ◆ 逗子に税金を納めているが、仕事は都内、逗子外で、市内の関わりが全くない人が多い。そのような方々に、①逗子市民として逗子を知る、②何か活動をできるような仕掛け。
- ◆ 自治基本条例に一步でも近づくために、市民、まちづくりの集会を定期的に行う。

＜コミュニケーション＞

- ◆ コミュニケーションの場の充実
- ◆ 市民のコミュニケーション
- ◆ 地域の交流

＜市民参加＞

- ◆ 市民参加が「誰でも」「自由」にできるシステム化を明確にする。
- ◆ 住民参加のルール作りを盛り込んでほしい。
- ◆ 参加、協働の仕組み
- ◆ 市民参加
- ◆ 参加意欲を高める仕組み
- ◆ 女性参加、協働の仕組み

＜若者の参加＞

- ◆ 若年層の参加を促す。
- ◆ 若い人の参加
- ◆ 若い年齢層の参加

- ◆ 若者参加、協働の仕組み
- ◆ 若い方の声を届くように。
- ◆ 若い世代の活性化
- ◆ 市民の声が届きやすい行政

＜市民／市長・職員／行政の役割、責務＞

- ◆ 市長・職員の職務内容の明確化。
- ◆ 行政の役割（仕事に関する理念）を明確に書き込む
- ◆ 住民の役割、行政の役割
- ◆ 市民と行政の役割
- ◆ 各々の立場・役割を意識できる仕組みとする。
- ◆ 逗子市民としての権利義務、逗子市役所（行政）としての権利義務
- ◆ 各役割の共通理解 PDCA
- ◆ 市民の責任
- ◆ 市民の方に権限なりが少しでも移るもの、意見を言うばかりでなく、手も動かし、責任を取るのが参画だと思う。
- ◆ 議会・市役所・市民ワークショップの関係を明記する。
- ◆ 住民層の協力
- ◆ 市、議員、議会、市民が一体感をもって協力し合うこと。

＜議会、議員の役割＞

- ◆ 議員の役割の中で、市長・行政のチェック機能よりむしろ、政策立案能力の充実を盛り込む。
- ◆ 議員が分野ごと（教育、環境、安全 etc）に担当制で市民の意見を集約していくこと。
- ◆ 議員が市民の中にもっと入ってきてほしい。
- ◆ 議会と議員一人一人の役割りと責務
- ◆ 議員のエリア担当制(2)
- ◆ 議員が市民と活動を共にする
- ◆ 議会・市役所・市民ワークショップの関係を明記する。
- ◆ 市、議員、議会、市民が一体感をもって協力し合うこと。

＜住民による自治＞

- ◆ 世代間交流・福祉充実の観点から、小学校区住民自治協議会の活動を徹底的に推進することをうたう。
- ◆ 住民力をつける。
- ◆ 自治会のあり方
- ◆ 大正12年9月1日、関東に大きな地震がありました。何時か？また、同じような事が起こった場合、自治会で考えるべきと考えます。
- ◆ 小学校区住民自治協議会の活動を保証する条例

- ◆ 字ごとに地域のことを話し合うこと。
- ◆ 住民自治協議会を本来の目的にそうものに、つまり、住民の意見を取り入れられるようにしたい。

＜自治基本条例のあり方・運用、進行管理＞

- ◆ PCDAが回るようにする。
- ◆ 作って終わりにしないため、市民・議会・行政が一体となって進行管理（見守り、発展させる）する規定
- ◆ 持続、チェック、更新していくもの。
- ◆ 自治条例の位置が担保されること（不変であること）及び改正が約束されていること&情報公開が常。
- ◆ 自治基本条例ができれば周知徹底して欲しい。
- ◆ 基本条例と各市民参加等の条例との整合性
- ◆ 運営の仕組み
- ◆ 条例の目的を分かり易く。
- ◆ 普段から手元に置いておけるような、使いやすい、分かりやすい条例となるような条項の作りこみをできたらいいなと思いました。

＜政策決定で大事にしたいこと＞

- ◆ 政策を考える際に、少数者の意見も大切にしたい。
- ◆ 少数（派）意見の尊重
- ◆ 物事の決定プロセスを明確にし、盛り込む。

＜逗子の魅力、逗子らしさ＞

- ◆ 逗子の魅力の認識をする。逗子＝人生となるか。それくらいいい町に（人とのつながり）小さい町だからこそその利点と捉える。
- ◆ 逗子の魅力を掘り下げて市民を大事にしながらより外に開かれた町になるようにする（学校誘致、スポーツ、健康 etc）
- ◆ 逗子でなければという魅力づくり。例えば、「サイエンスパーク」ソフト企業等の出資を得て人材が集まる拠点を設けることができる条例が必要（プロフェッショナル業、アシスタント）
- ◆ 逗子市らしさ

＜まちのPR＞

- ◆ 街の良いところをPRする。
- ◆ 若い世代が定住していくまちづくりを目指す（逗子はそういうまちだと主張していく）。
- ◆ 今の逗子の良さ、利点を生かす→市民の共通認識にする。外部へPR

＜住みやすいまち＞

- ◆ 住みやすい市
- ◆ 全ての市民が逗子に住んで良かったと思える政策を考える。
- ◆ 市内の商店で買い物ができる。
- ◆ 人の集まる町、特に若者が集まる。
- ◆ ゆりかごから墓場まで逗子で暮らしたい！（同感です）

＜働ける場、環境＞

- ◆ 働ける場の創造
- ◆ 市民が市内で働ける場所
- ◆ 逗子に住み、逗子で働ける環境作り
- ◆ 逗子でなければという魅力づくり。例えば、「サイエンスパーク」ソフト企業等の出資を得て人材が集まる拠点を設けることができる条例が必要（プロフェッショナル業、アシスタント）

＜大切にしたいこと、価値観＞

- ◆ 中立
- ◆ ダイバーシティ（※事務局注：一般的には「多様性」のこと）
- ◆ 東京通勤者を大切に（逗子市の財産、主な財源）
- ◆ 市民・個人が尊重され、互いを認め合える市となること。
- ◆ 機会を逃さず挑戦し変えよう。Chance, challenge, change（※事務局注：チャンス、チャレンジ、チェンジ）
- ◆ 市民が人らしく生きていく。

＜政策の方向性＞

- ◆ 自然を守る
- ◆ 「緑を大切に（する）」を目的に活動を展開する。
- ◆ 自然豊かな逗子を維持する。
- ◆ 逗子最大の特色の周囲四方の「緑」を徹底的に守るという観点から、敢えて市長の役割、議会の役割、行政の役割、市民の役割全て（それぞれ）の項目に書き込む。
- ◆ 森など自然を守る（環境）
- ◆ 環境に配慮
- ◆ 逗子に住みたくなる環境
- ◆ 市（地方自治体、逗子）が国や県等その他の条件の変化にかかわらず医療介護等の福祉を（将来）に必要なかつ十分なものとなることを最優先する。
- ◆ 福祉
- ◆ 福祉の充実した町
- ◆ 市民病院が必要だと思う。
- ◆ スポーツ都市
- ◆ 安全・安心

- ◆ (今、空き家問題が拡大しているとのことであるが) 市民が守るべきルール
- ◆ どんな市にしていくか (池子の活用)
- ◆ 逗子の知的財産 (大学?) 池子?

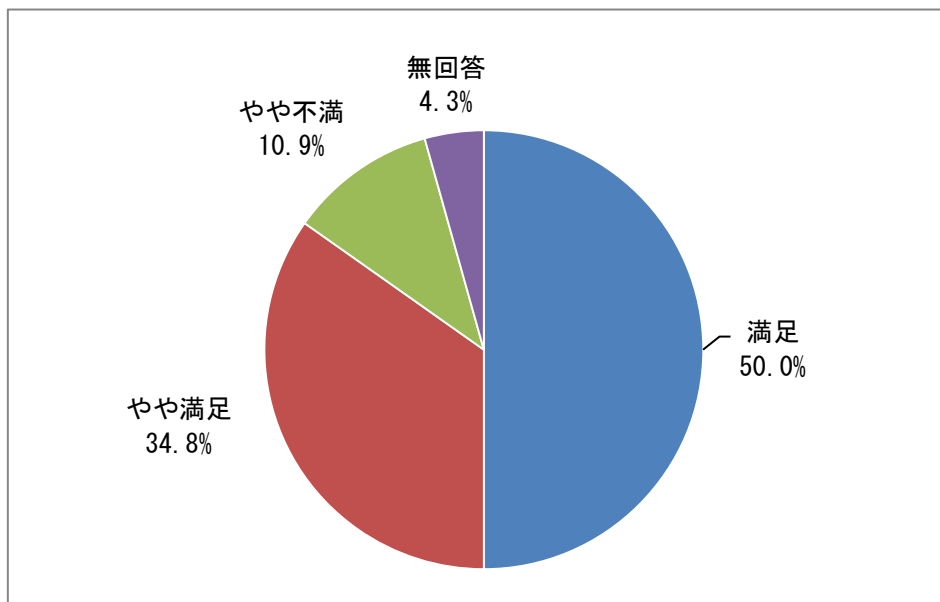
<制定のプロセス>

- ◆ それぞれの世代の声を反映させる。
- ◆ 無理せず継続的に全員で力を出し合う。
- ◆ 市民全体の元気を高める。

<その他>

- ◆ 「一押し」以前に、このワークショップの進め方の問題提出が多かった。
- ◆ 1回分早かったように思う。

6 第5回の感想



【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ 松下先生のお話が大変示唆的であった。②各グループ発表後の松下先生のコメント。
- ◆ 住民基本条例とは何か少しだけ理解できた。
- ◆ 基本自治条例というものがより解ったと思う。
- ◆ 皆さんのいろいろな考えを聞くことができる
- ◆ 松下先生の講演はとても勉強になりました。
- ◆ 条例について興味がわいた。条例でできること、できないことは何かを知りたい。
- ◆ いろいろな人の、いろいろな要望が聞けた。いつもこの点に満足。
- ◆ 今日のグループの方と親しくなれました。近隣の方にもグループワークのことお話ししてみます。宣伝しておきます。
- ◆ いろいろな方と話げできた。

- ◆ 逗子に29年居住しているが、逗子のことをほとんど知らない。目下勉強中です。
- ◆ 今回参加して少しずつではあるが条例が理解できました。
- ◆ 良い講演が聞けたこと、今後のワークショップにつなげたい。
- ◆ 講義内容が理解できた。
- ◆ 松下先生のお話はとても興味深く面白かった。
- ◆ 松下先生の話が聞けたこと。
- ◆ さまざまな意見を聞くことができた。
- ◆ 講義内容が分かり易かった。
- ◆ 松下先生の話は分かり易く、また、グループワークで各グループの意見発表時のアドバイスやコメントが適確で良かった。
- ◆ 多様な意見、視点が聞けた。
- ◆ 松下啓一氏の講義が自治基本条例の理解を深めたから。
- ◆ 松下先生の講義が非常に分かり易く納得できた。

【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ 個人の考えを出す時間が短いと思った。
- ◆ グループ発表の「一押し」と講師のコメントが大変良かった。この方式を今後も要望する。
- ◆ ポイントを解り易くしてほしい。
- ◆ 若い世代の追加募集についても発表があり、とても期待が持てる。
- ◆ 話し合いの時間が少し足りないと思いました。
- ◆ 時間がちょっと足りないか。
- ◆ 時間が少し足りなかった。
- ◆ メンバー相互の自己紹介が十分でなかったことが残念。
- ◆ 各地の例の結果が欲しかった。
- ◆ 発表時の私語が多く、聞きとりにくかった。(大人の集まりなのに)
- ◆ いろいろな意見が聞けて良かった。
- ◆ 松下先生の講演は分かり易くて良かった。
- ◆ 松下先生の話自体は分かり易かったです。ただ、その後のワークに行くには私にとっては少し唐突で分かりにくく、きちんと意見を言えるまでには至りませんでした。全て終わった後も消化不良な感じです。
- ◆ 先に講演があったので、それを基に議論できた。
- ◆ いろいろ考えることができた。

【「3. やや不満」を選択した理由】

- ◆ グループ論議で人それぞれの意見や利益など勝手に述べてもまとまらない。各グループにファシリテーションできる職員をつけたらどうでしょうか？前文論議はそろそろ必要になると思います。
- ◆ 松下先生の話が1回目のキックオフの内容とダブっていたので、その時間に他の人と話をしたかった。偏らないようにしたい。先生の考え方は1つであって無理もあ

る。(現実的でない) 失敗することもあることをやっているのだから、より多くの市民のコンセンサスが必要。他市の例とは違う問題を逗子は抱えていると思う。

- ◆ 変わるのには→市民で話し合う時間が必要→先生も話し合いが一番必要と言っている。他の例は見るなど言っている。ヒント言っちゃったけどネ。
- ◆ 時間が少なかったことです
- ◆ なかなか意見を盛り込めない (盛り込むのが難しい)
- ◆ 講演は good! 講演資料の画像もプリントも字が小さすぎて読めない。読めないほどの小さな字はストレスになるので書かない方が良い。